

突発的  
検証企画

# バイブズ BELRAY を 4人衆 BELRAY に入れてみる!!

アメリカで生まれ、アメリカで育ち、アメリカで愛された。我々が愛してやまないハーレーがごとき道を走るベルレイ。そんなオイルを入れた我々4人の実走実験の結果やいかに。



化学合成 (SYNTHETIC)  
エンジンオイル 10W-50  
2800円+税/1L

部分合成 (SEMI-SYNTHETIC)  
エンジンオイル 20W-50  
1700円+税/1L



鉱物油 (MINERAL)  
エンジンオイル 20W-50  
1200円+税/1L



ベルレイの公式サイトを見るとこんなキャッチコピーが目飛び込んでくる。「走りの常識を超えた伝説のオイル」。1946年にペーカリーオープン用潤滑油の製造会社として創業以来、「品質と性能の最高基準」を合い言葉に、モータースポーツに限らないさまざまなジャンルに、数多くの潤滑剤を提供してきた「巨人」を表現する言葉として、これほど適したものは無いと思ふ。そんなベルレイがリリースするHD専用オイルがこの「V-TWIN」シリーズ。3種類のグレードが販売されており、値段が高い順に、

▼部分合成 (SEMI-SYNTHETIC) 20W-50  
組成は特に精選された合成及びミネラルベースオイルよりなり、ベルレイ独特な耐摩耗化学技術と相まって際立ったパフォーマンス、保護性を発揮します。

▼鉱物油 (MINERAL) 20W-50  
最高品質のベースオイルとベルレイ独自の添加剤化学技術により、すべてのV-TWINエンジンに対して優れた摩耗保護性を発揮します。

となる。つまりはまさに「トータルパフォーマンスレブリカント」。もちろん今紹介しているエンジン以外にミッション、ブライマリー、ブレイキフルードやフォークオイルまでフルラインナップで取り揃え、現状純正やレブテックに「一時期の勢いが見られない日本のHD用オイル覇権争いに、改めて力を入れ始めたのである。そしてさらにもうひとつ、「ベースとなる原油の質の素晴らしさゆえアメリカ製オイルはレベルが高い」という昔からの通説の真偽のほどはわからなくとも、HDと同じ米国で長年育まれ続けてきた「ベルレイ」に肩入れしたくなるのであった。

## ◆'01年式FXDX (TC88)

実は初めて自分でやったんですよ、オイル交換。もっドキドキです。事前にドレンボルトの位置は調べておいたので、%ソケットを突っ込みグルグル左にまわしてみると、出てきたのはあらあらドロドロのような黒油。黒オイル……あらあら。そこから紆余曲折を経て、ようやくエンジン始動。オイルの知識などなくてもこの瞬間はワクワクするわけです。心地良いアイドリング、エンジンノイズは軽減、スムーズな発進、高速走行でのストレスのないスルスル回転。中のパーツパーツが奏でる喜びの唄が聞こえてくるようになります。正直メカに関してはト素人なので、体感よりも気持ちの部分が大きいかもしれないけれど、間違いなく良いオイルです。次のオイル交換は廃油が真っ黒になる前に必ず、と反省した次第。皆さんオイル交換はまめにやりましょう。



←いつも使っているのはコレ!!

うめ 徳永宗土。40歳。EVOなのにシヨベルやバンよりオイルが漏れていることは自覚済み。漏れていえば、フォークオイルも気になっている今日この頃。



ここ数年常用しているのはスペクトロのヘビーデューティーエンジンオイル。夏場は25W-60を使用しているが、良好なエンジンスタートはもちろん気持ちのいい吹き上がりでロング走走ってもなんら問題なく、夏場の都内も熱ダレなどなく、まさに自分のロングボーイにはピッタリなエンジンオイルだと思っている今日この頃。そこに舞い降りてきた、ベルレイオイルのインプレッサ。

## 宇都宮純子



部分合成 20W-50

仕事柄それほどバイクに乗っている姿を見ないのだが、実はバイク&MTG関係には友達&手下多数の本誌取次営業。日々この容姿とキッシュな大阪弁でオジ様方のハートを打ち抜くのです。

## ◆'93年式EVOチョッパー (二応ファットボーイ)

1946年創業のベルレイは、いかにがななのか。使用したのはミネラルエンジンオイルの20W-50。率直な感想はスペクトロとほぼ同感覚、というのが本音だったりする。毎日の通勤道で感じる違和感や不快感は一切なく、エンジン始動から高回転に至るまで、これまでのスペクトロ感覚とどう比較しても大差はなかった。目を瞑っていることだが、普段からオイルが漏れている箇所も量も同じ。



あくまでも感覚的な物言いが、エンジンのまわり方も気持ちいいほど同じ。強いて挙げるなら、キックが幾分軽くなったような気はするが、もちろん、さらにハイグレードなオイルこそ、本音では入れてみたかった。もちろんお財布と相談なのだが、

## ジェームス関島

本誌編集部員。純日本人であるにも関わらず、外国人相手に「ジェームスです」と自己紹介する恥ずかしさを繰り返して磨かれた52歳。



## ◆'78年式FXE (シヨベルヘッド)

世話になっているバイク屋さん曰く、「シヨベルにマルチは今では常識かもしれないけれど、JAYさんのバイクには相性が良くなさそうだから入れない方がいいかも」などと言われていたにも関わらず、なんのためらいもなく今回のベルレイの部外品を投入。なぜか。だって試したみたいじゃない。天下のベルレイぞ! 我々素人に唯一できるインプレッションがあるとするは、それは普段から乗っているバイクを材料にする以外ないわけだし。



部分合成 20W-50



←いつも使っているのはコレ!!

で、オイル交換の翌日、特集にあるように徳島へ。まずは気にしてみたのは匂い。以前化学合成を入れた時にはこの匂いが鉱物油との最大の違いに思えたのだが、このベルレイにはそれが無い。そして……驚くことにまわりがいい! もともとがシユルシユルしたエンジンなのだが、そのシユルシユルがより際立つとい

うか、軽快というか。しかも高速での走りをしばしば維持した後のアイドリングも安定感抜群。てことはやはりトータルバランスの良さということか。ちなみにその後、帰ってきてからの通勤でもそのまま使用し、好調をキープ中。

## 山崎三保子

アイスクリーム好きな本誌総務部長。通勤も保育園のお迎えもPTAの会合もライブハウス通いも、すべてをこのバイクでこなす男前のアラフォー。音楽も大好きで、ゴリゴリからゆるゆるまで守備範囲は幅広い。



## ◆'00年式XL1200S (EVOスポ)

果たして感じたことがオイルによる変化なのかどうかは正直わからなけれど……。最初には気がなかったのは排気音。空気が冷たく乾いた日ってひずんだ乾いた音がしませんか? それがこのオイルに交換してからひずみ方が違う。乾いて濡れた感じの排気音から、ちよっと湿った厚みのある音になった気がする。例えるならディストーションとオーバードライブの違い。交換した日の帰りは雨だったのですが、湿度のせいとか、とも思ったのですが、それから数日間、走るたび変化が現れました。潤いを含んだ音になったことは何かエンジンに良い気がするのは、乾燥が気になるお年頃だからでしょうか?



化学合成 10W-50



←いつも使っているのはコレ!!

乗り味は200キロくらい走ってから感じたのですが、走り出しから回転を上げていく中で、波の高かったところが抑えられ、低かったところ

るは増幅されて均一化されたように感じました。排気音も乗り味も交換してすぐに変わった感じはなく、距離走るほどに変わっていったので、徐々に馴染んで影響を及ぼしていくオイルなのかな、と思いました。